

共同運営部門：相談支援室・がん相談支援センター

<スタッフ紹介>

役職	スタッフ名
センター長兼副病院長 兼診療支援局長兼消化器外科主任部長 兼がん治療センター長	種村 匡弘

<関連部署>

部署名
看護局 外来
医療マネジメント課 相談支援室

<特色と概要>

当センターは、患者本人及びご家族の病気に対する疑問、悩み、更に治療方針に関する不安を患者及び家族に寄り添って一緒に解決していく相談窓口である。

がん相談支援センター

大阪府指定のがん診療拠点病院としての「がん相談支援センター」の役割を担い、がん診療に関連する様々な不安、悩み、心配の解決への支援を行っている。

相談支援室

がん以外の疾患に関する相談は「相談支援室」にて対応している。

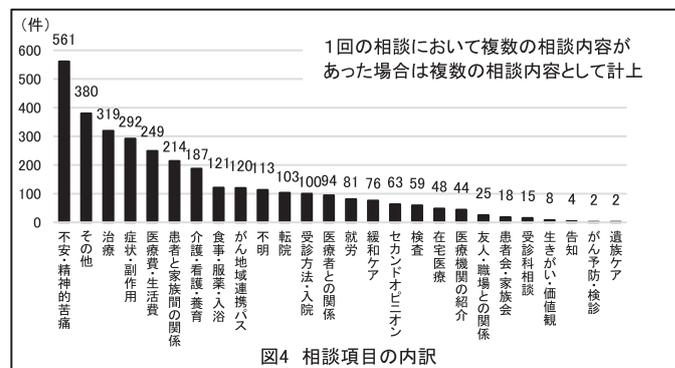
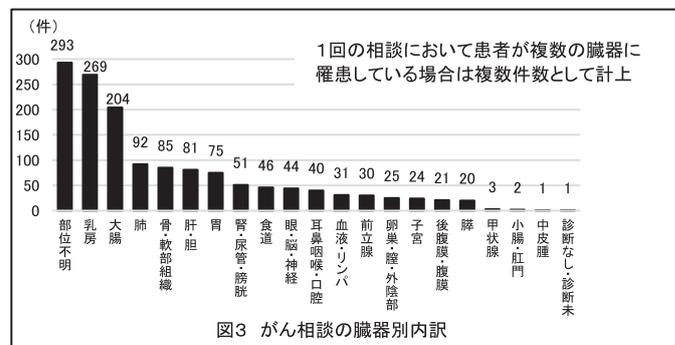
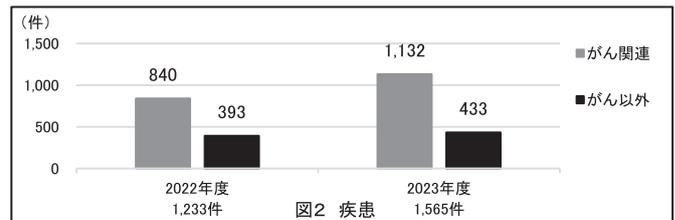
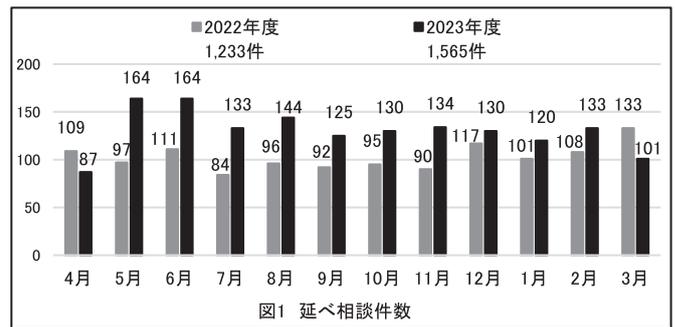
上記は、当院通院中の患者及び家族だけでなく、他院診療中の患者や地域住民どなたでも利用できる。相談体制としては看護師、MSWが直接対面または電話で対応している。予約は不要であり、無料で利用できる。

2023年度の延べ相談件数は1,565件(図1)で、前年度より332件増加した。相談者の65%が当院通院中の患者で、35%が他院通院中の患者または地域住民であった。相談の疾患別では、がん関連が72%、がん以外の疾患は28%(図2)であり、がん相談に対する相談が大部分を占めた。がんの臓器別では部位不明、乳房、大腸、肺の順に多かった(図3)。相談項目の内訳は、がんまたは疾患に対する不安、精神的苦痛を筆頭に3,298件(図4)あり、1回の相談で、複数件の相談を含んでいた。

相談員は患者、家族の不安や悩みを真摯に受け止め問題整理をし、適切な情報提供・支援できるよう心掛けている。治療方針で悩む場合は認定看護師によるインフォームドコンセントへの同席や看護外来を実施している。更に、がんの身体的、精神的苦痛に対しては緩和ケアチームや精神科と連携して対応している。

大阪府及び泉州がん相談支援部会では、課題や対応方法について協議している。また国立がん研究センターの「認定がん専門相談員」研修に参加して最新の知識を得ている。

<実績>



■「泉州がん拠点病院合同講演会」2023.10.21

がん治療における医療者とのコミュニケーションとストレスマネジメントについて

■「がん患者サロンin泉州」開催 2024.2.3

<今年度の反省と来年度への抱負>

今年度は、院内他部署とカンファレンスを行い情報共有したことで連携支援に繋がった。院外では泉州がん相談支援部会で合同がん患者サロンを開催し、患者が悩みを語らいウイッグやメイク体験を通じて問題を解決できるという体験型サロンを実施した。次年度は、相談のスキルアップに取り組み、適切な介入と支援が行えるようにしたい。